



《セゾン》カードインターナショナル
アメリカン・エキスプレス・カード



《セゾン》
アメリカン・エキスプレス・カード

海外での永久不滅ポイント2倍をはじめ、さまざまなサービスを搭載。

目的に合わせて選べる4タイプをラインナップしております。

www.saisoncard.co.jp



《セゾン》ゴールド
アメリカン・エキスプレス・カード



《セゾン》プラチナ
アメリカン・エキスプレス・カード

その旅を、揺るぎないス

テラタスとともに。



アナタの大切なひと、
大切にしていますか。

営業のご報告

2007年4月1日～2008年3月31日
(第58期)



クレディセゾングループの経営理念

私たち「サービス先端企業」として
「顧客満足主義の実践」
「取引先との相互利益の尊重」
「創造的革新の社風創り」
の3点を共通の価値観として浸透させ
競争に打ち勝ち、お客様、株主の皆様
そしてすべての取引先の皆様の期待に添うように
チャレンジを続け社会的責任を果たしてまいります。



■CONTENTS

2	株主の皆様へ
3-7	第58期トピックス
3	カードビジネスの拡大
4	新規提携カードの発行
5	貸金業法改定への対応／ファイナンス事業の成長
6	UCカード統合の成果と進捗
7	新規ビジネスによるサービス向上と新たな収益源の確保
8	営業の概況（連結）
9-10	セグメント別事業概況
11	連結貸借対照表
12	連結損益計算書
13	連結株主資本等変動計算書
14	財務ハイライト（単体）
15	単体貸借対照表
16	単体損益計算書
17	単体株主資本等変動計算書
18	株式の状況
19	会社概要
20	『株主優待制度』のご案内／株主メモ

株主の皆様へ

株主の皆様に、当社グループの第58期（2007年4月1日～2008年3月31日）の決算につきまして、ご報告申しあげます。

米国サブプライムローン問題や資源価格高騰の影響もあり、国内景気に不透明感が強まるなか、当社が属するノンバンク業界におきましては、貸金業法改定の影響やメガバンク主導の業界再編に伴う競争激化等により、依然として厳しい経営環境が続いております。当社におきましても、法改定に前倒しで対応すべく、キャッシング金利を6月より既存分を含めて引き下げたこともあり、前期まで24期継続していた増収増益が途切れることとなりました。

このような環境のもとで当社は、「存在感あるノンバンクの創造」を経営ビジョンに掲げ、第60期の連結経常利益700億円を目指とする新たな中期経営計画を当期よりスタートいたしました。主力のクレジットカード事業において、当社の最大の強みである営業ネットワークを再構築しつつ、ショッピングマーケットで30%、無担保消費者ローンマーケットで5%にシェアを拡大することを中長期的な目標とした事業展開を行う一方で、新たなコアビジネスとして、ファイナンス事業、不動産関連事業等の拡大に取り組むことにより、環境変化への対応力に富んだ事業基盤を確立し、次なる成長路線を軌道に乗せることを目指しております。

当期におきましても、営業拠点やサービスカウンターの統廃合を行なう一方で、山形屋グループとの新たな提携カード発行や、（株）山口フィナンシャルグループとの共同出資によるマーケティング会社「ワイエムセゾン（株）」設立による提携ネットワークの拡大、《セゾン》アメリカン・エキスプレス・カードへの「ゴールドカード」「年会費無料」追加による商品ラインナップの充実、さらにはオンラインショッピングモール「永久不滅.com」をはじめとしたWEB戦略の強化等の一連の取り組みを通じて、クレジットカード事業の拡大に努めた結果、当期末のカード会員数は2,601万人（前期比4.4%増）、年間稼動会員数は1,322万人（前期比5.9%増）となりました。なお、資本提携カード会社を含めた当社グループ全体では、カード会員数は3,432万人（前期比6.0%増）、年間稼動会員数は1,701万人（前期比8.9%増）となっております。

また、リース事業、信用保証事業、不動産担保ローン事業等、当社単体の非クレジットカード事業、さらには（株）アトリウムを中心とする不動産関連事業をはじめとしたグループ各社の事業分野におきましても、引き続き企業価値向上に向けた取り組みを進めてまいりました。

結果として当期における業績は、連結営業収益3,455億86百万円（前期比3.6%増）、連結経常利益581億11百万円（前期比27.5%減）、連結当期純利益267億55百万円（前期比80.5%増）となりました。

当社は今後とも「サービス先端企業」の経営理念を堅持しつつ、従来のクレジットカード会社の枠組みにとらわれず、マーケットの劇的变化にも臨機応变に対応し、企業価値の最大化を通じて株主の皆様に報いていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、《セゾン》カードとUCカードのご利用とともに、一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申しあげます。



2008年6月
代表取締役社長
林 野 宏

カードビジネスの拡大

●共同出資による新しい形のカードビジネス推進

各業界の優良企業と共同出資で合弁会社を設立し、様々な形でのカードビジネスを推進しています。

「静銀セゾンカード（株）」

（株）静岡銀行と共同出資により設立。2007年4月より静岡エリアの有力企業との提携により、地域No.1カードを目指し「ALL-Sカード」をはじめ、数種類の提携カードを発行しています。



「大和ハウスフィナンシャル（株）」

大和ハウス工業（株）と共同出資により設立。2007年5月より営業を開始し、大和ハウスグループのホームセンターやアウトレットモールとの提携カード「ハートワンカード」などを発行しています。大和ハウス工業（株）との提携により、これまでクレジットカード決済に馴染みのなかった住宅関連分野（家賃・リフォームなど）のカード決済も推進しています。



「ワイエムセゾン（株）」

（株）山口フィナンシャルグループ（YMGF）と共同出資により設立。当社は中四国地方最大の金融グループとして、営業地域におけるリテールファイナンス事業の強化を標榜するYMGF及びワイエムセゾン（株）との提携により、地域に密着したエリア最強カード「YM《セゾン》カード」を10月より、また「YMカードローン」を3月より発行しています。



「高島屋クレジット（株）」

当社は高島屋クレジット（株）への出資比率を2007年2月に33.4%に引き上げ、同社発行カードの全てのプロセシング業務を受注しています。高島屋店舗内のクレジットカウンターの共同運営を行なっています。



●アメックスカードのラインナップ充実

2007年10月より、「年会費無料」と「ゴールドカード」の2種類の《セゾン》アメリカン・エキスプレス・カードを発行しました。商品ラインナップを揃えることで、幅広いお客様に最適なカードをお選び頂き、アメリカン・エキスプレス・ブランドのサービスと満足感をご提供します。年会費無料のアメリカン・エキスプレス提携カードの発行は日本初となります。



新規提携カードの発行

百貨店・鉄道・通信・商業施設など幅広い業界とのアライアンスによる提携カード事業は、収益性を重視したスクランプ&ビルドを進めています。特に新規提携については、提携先を厳選し、お客様に支持される高稼動カードの創出に努めています。

「GE ETC Managerカード」(5月)

GEの法人向け金融サービス部門であり、オートリースを中心とした総合車両管理サービスを提供するGEフリートサービス(株)と提携し、企業向けETCカードを発行。



「ヤマカタヤカード」(7月)

鹿児島に本店を置く南九州の大型流通企業「山形屋グループ」との提携カードを発行。



「LPGA CLUB カード」(9月)

(社)日本女子プロゴルフ協会(LPGA)のオフィシャルファンクラブ創設に伴い、LPGAとの提携カードを発行。ファンクラブ会員だけに提供するゴルフ関連特典と、ピンクリボン運動への寄付などの機能を付加したカード。



「ララガーデン春日部カード《セゾン》」(10月)

(株)ららぽーとが埼玉県春日部市にオープンした商業施設「ララガーデン春日部」との提携カードを発行。施設の中にセゾンカウンターも出店。



「Tokyo Metro To Me CARD PASMO」(12月)

東京メトロとの提携カード。クレジットカードと電子マネー「PASMO」の機能を搭載。また東京メトロはもちろん、提携交通機関の定期券購入や「PASMO」のオートチャージも可能。



「《セゾン》カードローン ゴールド」(2月)

特に優良なお客様を対象とした、低金利の金利変動型ローン。適用金利は毎年2月1日時点の短期プライムレートに連動して、年1回変動。



貸金業法改定への対応

●キャッシング金利引き下げ

2006年12月に公布された貸金業法に基づき、2007年6月11日よりUCカード、7月17日より《セゾン》カードのキャッシング金利を18%以下に引き下げました。金利引き下げにあたっては、当社の掲げるお客様第一主義に沿って、新規利用分のみならず、既存残高についても対象としました。

当社はこれまで、段階的にキャッシング金利の引き下げを進めてきましたが、早期に金利を18%以下に引き下げたうえで、事業構造改善を図り、新しい貸金業法の時代に対応できる企業体質を作り、業績の回復を目指すことが、結果として中期的な株主様利益に繋がるものと考えています。

●営業ネットワーク再構築

カードビジネスの収益性改善施策として営業ネットワークの再構築に着手しました。カード獲得においては“量”に加え“質”を重視し、稼動率の低いカードは新規募集や更新を控える一方で、よりサービスの充実したゴールドカードやプラチナカードの種類を増やしました。また、WEBを有効活用したカード会員の獲得にも積極的に取り組んでいます。

このような営業手法の転換にともない、全国の営業拠点を統廃合し、2007年度は全国の支店を12支店から10支店に、またサテライトオフィス12ヵ所、カードカウンター29ヵ所を閉鎖し、営業ネットワークの効率化を図りました。

ファイナンス事業の成長

クレジットカード事業以外のファイナンス事業は2007年度も順調に拡大しました。単体営業収益に占めるファイナンス事業の収益の割合は、12.4%を占め、債権流動化分を含めた収益は前年比26%増で成長しています。

●融資ビジネス

不動産担保融資ビジネスは2007年前半までの不動産市況の好況により、大きく残高を伸ばしました。市況が停滞に転じた2007年後半以降も、あらゆるマーケット環境に対応できるビジネスモデルを有する関係会社(株)アトリウムとの連携により事業は堅調に推移し、2007年度期末残高は2,308億円(債権流動化分含む)、営業収益は183億円となりました。

●信用保証ビジネス

信用保証ビジネスは(株)秋田銀行・(株)山梨中央銀行など新規提携先を大幅に拡大し、提携金融機関は地銀・信用金庫を中心に164先となり2007年度期末残高は目標であった1,500億円を突破しました。金融機関の良きパートナーとして今後も積極的に営業拡大を推進してまいります。

UCカード統合の成果と進捗

2006年1月のUCカード会員事業統合以降、重複組織の改廃・統合や人事の融合を始め、SAISONブランドとUCブランドのカード機能・サービスの統合を進め、2007年10月より、UCカードのポイント「にこにこプレゼント」が「UC永久不滅ポイント」に変わり、UCカードのポイント制度にも《セゾン》カード同様、有効期限がなくなりました。



●プロセシング専門会社（株）キュービタスを設立

当社と（株）みずほ銀行ならびにユーシーカード（株）は、クレジット事業におけるプロセシング専門会社を2007年10月1日に設立しました。2008年4月からは当社と（株）みずほ銀行の共同出資により新会社を運営し、SAISON・UC両ブランドカードのほぼ全てのプロセシング業務を受託しています。

規模拡大と、業務・システムをトータルに運用することで、効率性を高め、質量ともに日本最高水準を誇る総合プロセシング体制を構築することを目指します。

クレジットカード業界は事業再編、新たな決済サービスの拡大、貸金業関連法改定等により経営環境がより一層厳しさを増しております。このような環境の中、クレジットビジネスのインフラを支える『専業プロセッサー』として2007年10月プロセシング事業をユーシーカード（株）より新設分割いたしました。

2008年4月より、（株）クレディセゾンのオペレーション業務を統合し、ローコストオペレーションを軸に、審査業務、途上管理からコールセンター、各種事務処理業務までクレジットビジネスのあらゆるシーンをサポートし、今まで以上にお客様に信頼される高品質なサービスとコストリーダーシップを実現してまいります。

今後は、クレジット事業で培ったノウハウを生かし幅広い決済業務を担うことのできる『総合プロセシングサービス会社』を目指し、より一層お客様にご満足頂けるよう取り組んでまいります。



(株)キュービタス
代表取締役社長
梅野 恭輔

新規ビジネスによるサービス向上と新たな収益源の確保

●永久不滅.com

《セゾン》カードのNet会員（Netアンサー会員）専用オンラインショッピングモール「永久不滅.com」には、様々なカテゴリーの約280の有力オンラインショップが出店しています。

このモールでショッピングをし、《セゾン》カードで決済すると、カード利用に応じて付与される「永久不滅ポイント」をいつでも通常の2~19倍獲得することができます。当社はオンラインショップから成果報酬で出店手数料を受け取り、その中からポイントとしてお客様に利益還元するというシステムです。

2007年10月からは、UCカードのNet会員（アットユーネット会員）にもご利用頂けるようになり、2007年度末には月間約15億円の取扱高をあげるまでに成長しました。「モバイル版永久不滅.com」や「法人版永久不滅.com」「永久不滅コンテンツ」など充実した内容により、このモールを経由してNet会員も拡大し、2008年4月現在のNet会員数は260万人になりました。

今後も当社の新規ビジネスとして育成し、2008年度は360億円の取扱高を見込んでいます。



●セゾン投信株式会社

当社の100%子会社として投資信託委託会社「セゾン投信（株）」を設立し、2007年3月よりオリジナル投資信託を設定し直接販売方式で募集開始いたしました。世界最大級の投信会社であるザ・バンガード・グループ・インクが提供するインデックスファンドと、日本における長期投資のパイオニアさわかみ投信（株）が運用する「さわかみファンド」などを投資対象とするファンド・オブ・ファンズの2本をノーロードで販売し、登録口座数は26,000件を超え、純資産総額は170億円を突破いたしました。

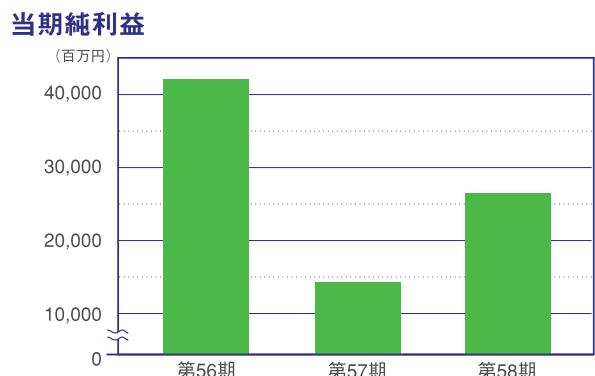
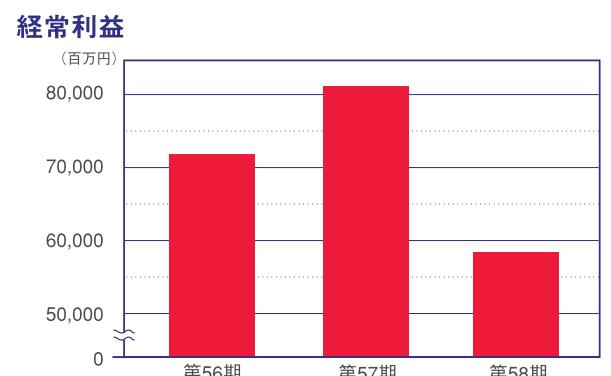
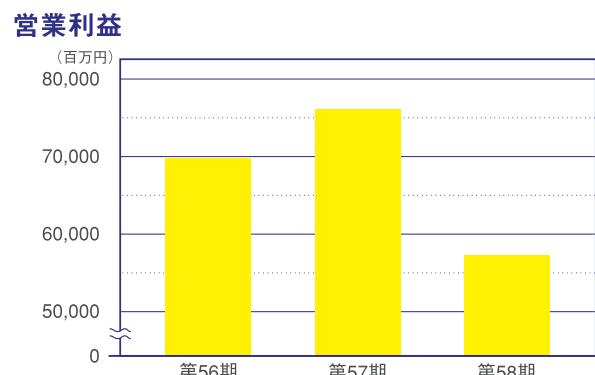
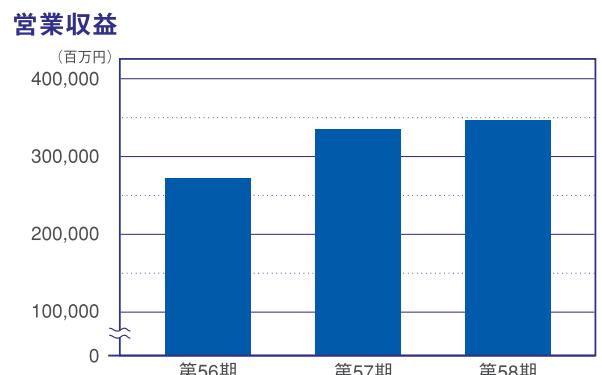
また、「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は2007年度日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞にも選ばれ、金融業界やマスコミからも高い評価を得ています。今後も全国各地でのセミナー等を通じてお客様のニーズを伺いながら、長期運用に相応しい投資信託をローコストで提供してまいります。



当連結会計年度の営業収益は、前期比3.6%増の3,455億86百万円、営業利益は前期比23.9%減の571億91百万円、経常利益は前期比27.5%減の581億11百万円、当期純利益は前期比80.5%増の267億55百万円となりました。

なお、当社が保有するVisa Inc.株式に関する株式償還益として130億21百万円の特別利益を計上した一方で、営業ネットワークの再構築に着手したことによる事業構造改革損失として24億40百万円、長期貸付金に対する貸倒引当金繰入額として112億64百万円を特別損失として計上いたしました。

右記に、セグメント別の事業概況についてご報告いたします。



● クレジットサービス事業 [クレジットカード事業、サービサー(債権回収)事業等]

クレジットカード事業においては、第58期トピックス(P.3~7)に記載させて頂いております様々なカードビジネスの拡大、新規提携カードの発行及び営業ネットワークの再構築を推進するなど、お客様に支持される高稼動カードの創出と収益性の改善に努めました。さらにインターネットの普及と利用環境の改善が進んだ状況を受け、WEBサイトを有効活用したカード獲得強化に向け、WEB支店を設置するとともに、「永久不滅.com」を中心とした新規ネットビジネスによるフィー収益の創出に向け、WEB戦略の強化を積極的に展開しております。なお、当社は、改正貸金業法の全面施行に先立ちキャッシングの貸出金利を新規利用分のみならず既存残高も対象に18.0%以下に改定しております。

サービサー(債権回収)事業においては、他業種からの参入もあり、一段と競争が激化しておりますが、従来のカード会社及び金融機関に加えて、民間委託による効率化がより求められる官公庁マーケットへ積極的に参入し、併せて既存取引先の活性化に向けての営業展開を推進した結果、好調な売上を維持しました。また、適正なコスト管理及び総合的な債権回収力の強化により、回収額の増加及び利益率の向上を達成し、より生産性の高い業務運営を実現いたしました。

以上の結果、営業収益は前期比0.4%減の2,547億15百万円、営業利益は前期比39.5%減の305億81百万円となりました。

● ファイナンス事業 [信用保証事業、各種ローン事業、リース事業等]

各事業の取扱いが順調に拡大した結果、営業収益は前期比18.8%増の443億70百万円、一方で、各種ローン事業の貸倒コストの増加等により、営業利益は前期比6.0%減の112億52百万円となりました。

信用保証事業においては、提携金融機関と営業・管理両面にわたる密接な連携により、良質な案件の獲得に注力しつつ、新たな業務提携を推進するなど、取扱い拡大に努めました。

各種ローン事業においては、カード会員向けの「メンバーズローン」をはじめとした各種無担保ローンを個人向けに提供しております。また、これまで不動産流動化事業を通じて得た、不動産評価能力や不動産流動化に関するノウハウ、ネットワークを活用した不動産担保融資事業等の取扱いが順調に推移いたしました。

リース事業においては、リース市場が企業の設備投資意欲減退などを背景として停滞傾向にあるなか、提携販売店の拡大、取扱商材の多様化を図った結果、前期を上回る取扱いを確保いたしました。

(2008年3月31日現在／単位：百万円)

● 不動産関連事業 [不動産流動化事業、サービス事業、不動産ファンド事業、不動産融資保証事業、不動産賃貸事業等]

お客様のあらゆるニーズに対してワンストップでのソリューションを提供できることを強みに「バリュー・プロデュース」ビジネスを展開してまいりましたアトリウムグループの好調な業績により、営業収益は前期比36.4%増の379億57百万円、営業利益は前期比47.9%増の227億60百万円となりました。

不動産流動化事業においては、仕入情報ルートの拡大や不動産M&A手法の活用等に努め、順調な物件取得を行うとともに、的確なバリューアップと計画的販売を推進し、サービス事業においては、特に地域金融機関への営業活動に注力し、他サービスからの二次譲渡、事業再生案件への取り組み強化により過去最高の債権購入を実行いたしました。また、不動産ファンド事業においては、ファンドのクロージングにより売却益を確保するとともに、保有物件の稼動率向上等によりバリューアップを着実に推進し、不動産融資保証事業においては、案件の選別をより厳格化しつつも、好調な融資保証実行を維持することができました。

なお、不動産賃貸事業においては、所有する不動産物件を活用したテナントビル事業のほか、不動産オーナーから一括賃借した不動産物件を運営・管理する不動産サブリース事業を行っております。

● エンタテインメント事業 [アミューズメント業等]

アミューズメント業におきましては、地域に支持される健全で安心、快適な店作りをしてまいりましたが、遊技台への規制強化により、営業収益は前期比14.9%減の143億95百万円、営業損失は30億10百万円となりました。

なお、2008年3月に、当社連結子会社であるアミューズメント業を営む(株)ヴィーヴルと、不動産賃貸業及び会員制クラブ事業を営む(株)ウラクアオヤマについて、(株)ヴィーヴルを存続会社とする経営統合を行い、(株)コンシェルトに商号変更しております。両社を経営統合することにより、(株)ヴィーヴルの店舗開発部門と(株)ウラクアオヤマの不動産開発部門で重複している機能・人材・ノウハウを集約し、業務の更なる効率化を推進することで、グループ経営の強化を図ってまいります。

● その他の事業 [保険代理店業、情報処理サービス業、損害保険業等]

保険代理店業、情報処理サービス業、損害保険業等から構成されております。営業収益は前期比51.5%増の19億95百万円、営業利益は前期比100.1%増の13億27百万円となりました。

事業内容	主な関係会社名	
● クレジットサービス事業	ジェーピーエヌ債権回収(株) 出光クレジット(株)* りそなカード(株)* 大和ハウスフィナンシャル(株)*	(株)ローソン・シエス・カード* ユーシーカード(株)* 静銀セゾンカード(株)* 高島屋クレジット(株)*
● ファイナンス事業	(株)セゾンファンデックス	
● 不動産関連事業	(株)アトリウム (株)エー・アイ・シー	(株)アトリウム債権回収サービス (株)ハウスプランニング
● エンタテインメント事業	(株)コンシェルト	(株)エイ・アンド・エイ
● その他の事業	(株)セゾン情報システムズ*	セゾン自動車火災保険(株)*

無印：連結子会社 *：持分法適用会社 ※当連結会計年度より重要性が増加した(有)エー・アール・ホテルズ銀座を営業者とする匿名組合を連結子会社に含めておりましたが、当連結会計年度において匿名組合契約が終了したことにより連結子会社から除外しております。※2008年3月1日をもって(株)ヴィーヴルは(株)ウラクアオヤマを吸収合併し、(株)コンシェルトに商号変更しております。

資産の部			負債の部		
科目	金額	増減額	科目	金額	増減額
流動資産			流動負債		
現金及び預金	57,244	1,283	支払手形及び買掛金	217,059	△ 20,201
割賦売掛金	1,737,956	65,052	短期借入金	406,901	25,192
その他営業債権	816	284	一年以内に返済予定の長期借入金	67,078	14,550
有価証券	2,499	999	一年以内に償還予定の社債	16,825	△ 25,620
たな卸資産	198,028	50,071	コマーシャル・ペーパー	114,000	12,700
緑延税金資産	25,052	5,581	一年以内に償還予定の債権譲渡支払債務	14,272	2,156
短期貸付金	34,401	29,175	未払法人税等	15,018	△ 21,342
その他	38,062	4,099	賞与引当金	2,082	△ 77
貸倒引当金	△ 75,300	△ 10,093	役員賞与引当金	98	△ 62
流動資産合計	2,018,760	146,453	流動負債合計	914,382	△ 9,739
固定資産			固定負債		
有形固定資産			社債	283,977	51,480
リース資産	169,385	6,277	長期借入金	715,103	95,275
建物	17,822	1,201	債権譲渡支払債務	20,698	△ 15,185
土地	11,504	△ 27	退職給付引当金	5,326	△ 1,166
建設仮勘定	1,605	△ 347	役員退職慰労引当金	241	△ 698
その他	11,924	△ 814	保証債務引当金	3,608	1,065
有形固定資産合計	212,242	6,290	瑕疵保証引当金	124	75
無形固定資産			ポイント交換引当金	45,474	9,269
借地権	970	—	利息返還損失引当金	33,841	△ 815
ソフトウェア	41,735	5,812	負ののれん	298	190
その他	5,119	964	その他	8,900	2,448
無形固定資産合計	47,825	6,776	固定負債合計	1,117,593	141,937
投資その他の資産			負債合計	2,031,976	132,197
投資有価証券	97,679	△ 8,594	純資産の部		
長期貸付金	28,513	△ 826	科目	金額	増減額
差入保証金	7,716	△ 714	株主資本		
緑延税金資産	44,657	12,816	資本金	75,684	454
その他	8,472	△ 1,183	資本剰余金	81,330	453
貸倒引当金	△ 15,598	△ 10,231	利益剰余金	225,855	21,725
投資損失引当金	△ 304	77	自己株式	△ 6,092	△ 45
投資その他の資産合計	171,136	△ 8,657	株主資本合計	376,778	22,588
固定資産合計	431,204	4,409	評価・換算差額等		
緑延資産			その他有価証券評価差額金	10,171	△ 8,980
社債発行費	672	167	緑延ヘッジ損益	△ 670	△ 487
緑延資産合計	672	167	評価・換算差額等合計	9,501	△ 9,468
資産合計	2,450,637	151,030	少數株主持分	32,381	5,712
			純資産合計	418,661	18,832
			負債及び純資産合計	2,450,637	151,030

(注1)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注2)増減額は、2007年3月31日現在の残高との比較になります。

(2007年4月1日～2008年3月31日／単位：百万円)

科目	金額	前期比(%)
営業収益		
クレジットサービス事業収益	247,278	
ファイナンス事業利益	109,593	
ファイナンス事業収益	68,310	
不動産関連事業利益	41,283	
不動産関連事業収益	112,224	
不動産関連事業原価	80,986	
エンタテインメント事業利益	31,237	
エンタテインメント事業収益	109,448	
エンタテインメント事業収益	95,069	
その他の事業利益	14,378	
その他の事業収益	2,535	
その他の事業原価	539	
金融収益	1,995	
営業収益合計	9,412	
	345,586	103.6
営業費用		
販売費及び一般管理費	265,493	
金融費用	22,901	
営業費用合計	288,395	111.6
営業利益	57,191	76.1
営業外収益	3,829	
営業外費用	2,909	
経常利益	58,111	72.5
特別利益		
投資有価証券償還益	14,412	
投資有価証券売却益	500	
貸倒引当金戻入益	106	
持分変動利益	99	
その他	273	
特別損失		
貸倒引当金繰入額	11,264	
事業構造改革損失	2,440	
投資有価証券売却損	1,591	
固定資産処分損	562	
減損損失	514	
関係会社株式評価損	477	
持分変動損失	418	
投資有価証券評価損	144	
商品券回収損失引当金繰入額	111	
その他	191	
税金等調整前当期純利益	17,716	166.0
法人税、住民税及び事業税	55,786	
法人税等調整額	33,848	
少数株主利益	△11,280	
当期純利益	22,567	
	6,462	
	26,755	180.5

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2007年4月1日～2008年3月31日／単位：百万円)

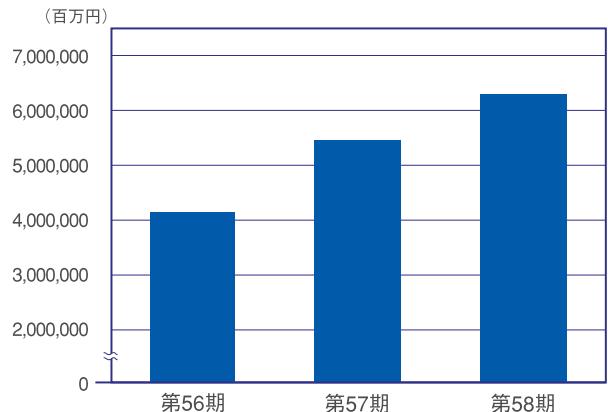
	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2007年3月31日残高	75,230	80,876	204,129	△6,047	354,189
連結会計年度中の変動額					
新株の発行	454	454	—	—	908
剰余金の配当	—	—	△5,030	—	△5,030
当期純利益	—	—	26,755	—	26,755
自己株式の取得	—	—	—	△4	△4
自己株式の処分	—	△0	—	0	0
持分の変動	—	—	—	△41	△41
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—
連結会計年度中の変動額合計	454	453	21,725	△45	22,588
2008年3月31日残高	75,684	81,330	225,855	△6,092	376,778

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
2007年3月31日残高	19,152	△182	18,969	26,669	399,828
連結会計年度中の変動額					
新株の発行	—	—	—	—	908
剰余金の配当	—	—	—	—	△5,030
当期純利益	—	—	—	—	26,755
自己株式の取得	—	—	—	—	△4
自己株式の処分	—	—	—	—	0
持分の変動	—	—	—	—	△41
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	△8,980	△487	△9,468	5,712	△3,755
連結会計年度中の変動額合計	△8,980	△487	△9,468	5,712	18,832
2008年3月31日残高	10,171	△670	9,501	32,381	418,661

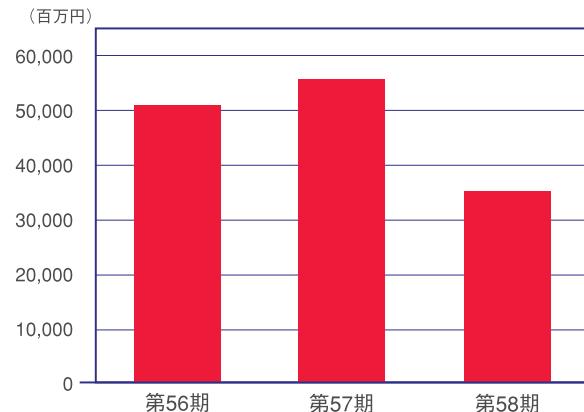
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2008年3月31日現在／単位：百万円)

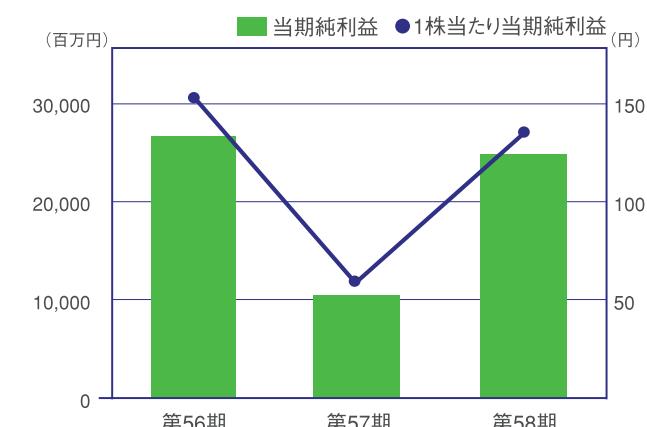
取扱高



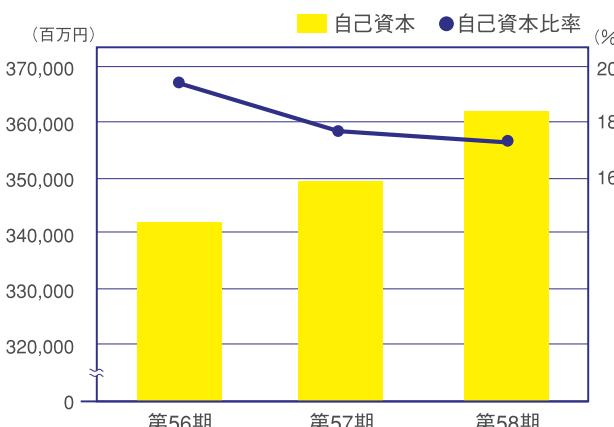
経常利益



当期純利益及び1株当たり当期純利益



自己資本及び自己資本比率



資産の部		
科目	金額	増減額
流動資産		
現金及び預金	37,459	△ 3,725
割賦売掛金	1,608,364	80,571
商品	117	△ 539
貯蔵品	1,134	△ 111
前払費用	692	△ 180
緑延税金資産	17,304	4,035
短期貸付金	33,981	28,980
未収入金	14,734	△ 1,619
その他	17,668	5,765
貸倒引当金	△ 64,382	△ 7,943
流動資産合計	1,667,074	105,232
固定資産		
有形固定資産		
リース資産	169,421	6,272
建物	5,061	△ 1,124
車両運搬具	1	0
器具備品	7,593	△ 348
土地	3,614	△ 27
建設仮勘定	220	△ 297
有形固定資産合計	185,914	4,474
無形固定資産		
借地権	14	—
ソフトウェア	39,945	5,755
その他	5,081	958
無形固定資産合計	45,041	6,713
投資その他の資産		
投資有価証券	49,271	△ 22,525
関係会社株式	50,863	3,103
出資金	40	△ 11
関係会社出資金	35	35
長期貸付金	28,223	—
関係会社長期貸付金	5,000	—
長期前払費用	3,961	360
差入保証金	3,134	255
緑延税金資産	40,113	14,022
その他	2,736	923
貸倒引当金	△ 15,411	△ 11,287
投資損失引当金	—	2,054
投資その他の資産合計	167,967	△ 13,070
固定資産合計	398,923	△ 1,882
緑延資産		
社債発行費	515	167
緑延資産合計	515	167
資産合計	2,066,513	103,517

負債の部		
科目	金額	増減額
流動負債		
支払手形	3,143	897
買掛金	212,288	△ 21,207
短期借入金	303,289	24,024
一年以内に返済予定の長期借入金	32,100	△ 8,100
一年以内に償還予定の社債	10,000	△ 20,000
コマーシャル・ペーパー	95,000	△ 2,000
一年以内に償還予定の債権譲渡支払債務	14,272	2,156
未払金	3,668	△ 1,793
未払費用	17,703	△ 2,217
未払法人税等	8,540	△ 20,038
預り金	11,395	3,573
前受収益	851	685
賞与引当金	1,596	△ 114
役員賞与引当金	98	△ 62
利息返還損失引当金	10,353	191
事業構造改革損失引当金	435	435
商品券回収損失引当金	141	141
割賦利益繰延	5,703	577
その他	1,018	404
流動負債合計	731,598	△ 42,445
固定負債		
社債	270,000	50,000
長期借入金	594,070	88,400
債権譲渡支払債務	20,698	△ 15,185
退職給付引当金	4,863	△ 801
役員退職慰労引当金	—	△ 715
保証債務引当金	3,595	1,058
ポイント交換引当金	45,474	9,269
利息返還損失引当金	29,478	△ 882
受入保証金	979	251
負ののれん	271	271
その他	3,964	2,533
固定負債合計	973,395	134,197
負債合計	1,704,993	91,752
純資産の部		
科目	金額	増減額
株主資本		
資本金	75,684	454
資本剰余金	80,985	453
資本準備金	79,089	454
その他資本剰余金	1,896	△ 0
利益剰余金	200,753	19,544
利益準備金	3,020	—
その他利益剰余金	197,733	19,544
別途積立金	162,455	5,000
緑延利益剰余金	35,278	14,544
自己株式	△ 5,581	△ 4
株主資本合計	351,841	20,448
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,059	△ 8,344
緑延ヘッジ損益	△ 381	△ 338
評価・換算差額等合計	9,678	△ 8,683
純資産合計	361,519	11,765
負債及び純資産合計	2,066,513	103,517

(注1)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注2)増減額は、2007年3月31日現在の残高との比較になります。

(2007年4月1日～2008年3月31日／単位：百万円)

科目	金額	前期比(%)
営業収益		
クレジットサービス事業収益	110,047	
総合あっせん収益	612	
個品あっせん収益	99,241	
カードキャッシング収益	15,921	
業務代行収益	6,137	
その他の収益		
ファイナンス事業利益		
信用保証収益	7,386	
各種ローン収益	20,018	
リース売上高	75,297	
リース売上原価	68,331	
リース売上利益	6,965	
不動産関連事業利益		
不動産関連事業収益	522	
不動産関連事業原価	518	
その他の事業利益		
その他の事業収益	2,535	
その他の事業原価	539	
金融収益		
営業収益合計	277,741	102.8
営業費用		
販売費及び一般管理費	223,815	
金融費用		
支払利息	17,803	
その他	2,518	
営業費用合計	244,137	111.6
営業利益	33,603	65.3
営業外収益		
営業外費用	3,137	
経常利益	36,557	64.6
特別利益		
投資有価証券償還益	14,412	
投資有価証券売却益	476	
その他	26	
特別損失		
貸倒引当金繰入額	11,264	
事業構造改革損失	2,440	
投資有価証券売却損	1,589	
関係会社株式評価損	641	
固定資産除却損	144	
商品券回収損失引当金繰入額	111	
投資有価証券評価損	37	
固定資産売却損	22	
その他	85	
税引前当期純利益	35,135	211.9
法人税、住民税及び事業税	21,809	
法人税等調整額	△11,252	
当期純利益	24,578	240.5

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2007年4月1日～2008年3月31日／単位：百万円)

資本金	株主資本				自己株式	株主資本合計
	資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計
2007年3月31日残高	75,230	78,635	1,896	80,531	3,020	157,455
事業年度中の変動額						
新株の発行	454	454	—	454	—	—
別途積立金の積立	—	—	—	—	5,000	△5,000
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△5,034
当期純利益	—	—	—	—	—	24,578
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△4
自己株式の処分	—	—	△0	△0	—	0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—
事業年度中の変動額合計	454	454	△0	453	—	5,000
2008年3月31日残高	75,684	79,089	1,896	80,985	3,020	162,455
					35,278	200,753
					△5,581	351,841

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	継延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
2007年3月31日残高	18,404	△43	18,361	349,754
事業年度中の変動額				
新株の発行	—	—	—	908
別途積立金の積立	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	△5,034
当期純利益	—	—	—	24,578
自己株式の取得	—	—	—	△4
自己株式の処分	—	—	—	0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	△8,344	△338	△8,683	△8,683
事業年度中の変動額合計	△8,344	△338	△8,683	11,765
2008年3月31日残高	10,059	△381	9,678	361,519

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

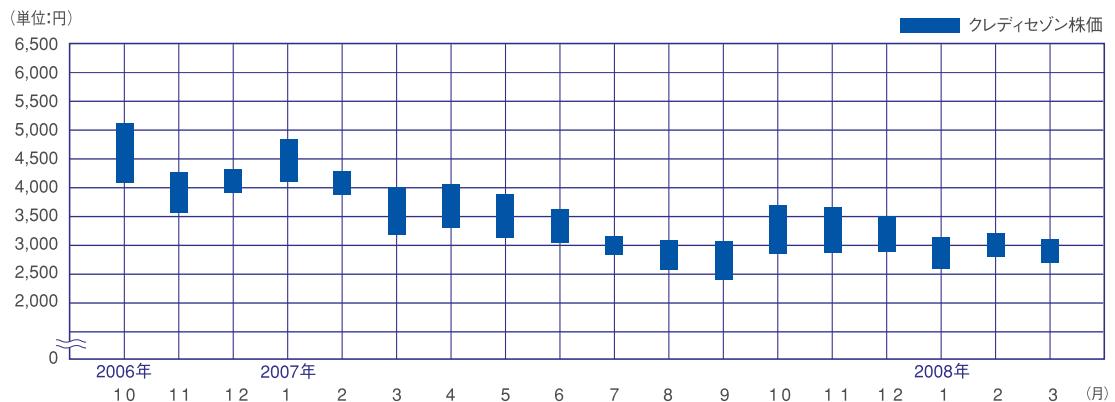
- 発行可能株式総数 300,000,000株
- 発行済株式の総数 181,651,525株
- 株主数 9,565名

● 大株主(上位10名)

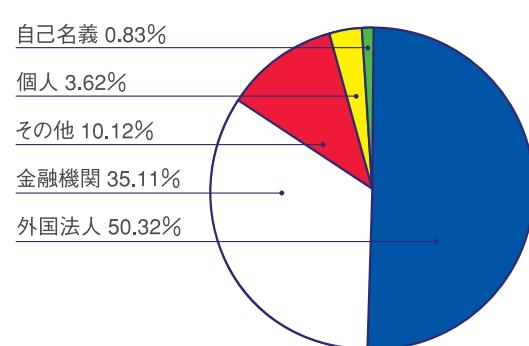
株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
(株)みずほ銀行	125,931	6.93
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	111,839	6.16
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	102,451	5.64
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	96,978	5.34
メロンバンクエヌエーティー・クライアントオムニバス	84,904	4.67
(株)みずほコーポレート銀行	46,755	2.57
ドイツ証券(株)	43,287	2.38
(株)西武百貨店	41,000	2.26
江ーピーモルガンチャースオツベンハマー・ファンド・ジャパン・カウト	38,590	2.12
ビー・エヌ・ピー・パリバ・セキュリティーズ(ジャパン)リミテッド	34,777	1.91

(単位:百株、%)

● 株価推移



● 所有者別株式分布状況



● 商号

株式会社クレディセゾン
Credit Saison Co.,Ltd.

● 設立

1951年5月1日

● 資本金

75,684,970,808円

● 従業員数

2,482名 他に嘱託、パート及びアルバイトの期中平均雇用人員は1,810名(1日7.75時間換算)

● 主要な事業内容

- ① クレジットサービス事業…クレジットカード事業、サービサー(債権回収)事業等
- ② ファイナンス事業……信用保証事業、各種ローン事業、リース事業等
- ③ 不動産関連事業……不動産流動化事業、サービサー事業、不動産ファンド事業、不動産融資保証事業、不動産賃貸事業等
- ④ エンタテインメント事業…アミューズメント事業等
- ⑤ その他の事業 …………… 保険代理店業、情報処理サービス業、損害保険業等

● 本社

〒170-6073 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号 サンシャイン60・52F
Tel.03-3988-2111(代表)
ホームページ: <http://www.saisoncard.co.jp>

● 役員

代表取締役社長	林野 宏	常勤監査役	佐藤 浩通
代表取締役副社長	前川 輝之	常勤監査役	櫻井 勝
代表取締役専務	山本 敏晴	常勤監査役	富澤 宏
専務取締役	宮内 秀機	常勤監査役	松本 康太郎
常務取締役	鈴木 秀敏	監査役	土岐 敦司
常務取締役	稻田 和房		
常務取締役	高橋 直樹		
常務取締役	山本 光介		
取締役	山路 孝真		
取締役	横井 千香子		
取締役	鈴木 日出男		
取締役	金 洪太		
取締役	山本 寛		
取締役	山本 恵朗		
取締役	梅野 恭輔		

●株主の皆様へ永久不滅ポイントを進呈いたします。

3月末日時点当社株主で、当社発行カード会員の方に、持株数に応じて永久不滅ポイントを毎年1回、8月中旬に進呈いたします。

※一部永久不滅ポイントの対象とならないカードがございます。

永久不滅ポイントにつきましては右のページをご覧ください。

●株主優待制度に関するお問い合わせ：株式会社クレディセゾン 総務部 ☎ 03-3988-2111 (受付時間／平日 9:00～17:45 土・日・祝日休み)

株主メモ

●事業年度 每年4月1日から翌年3月31日まで

●定時株主総会 每年6月開催

定時株主総会権利行使株主確定日 3月31日

期末配当金受領株主確定日 3月31日

その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部

〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部

住所変更等用紙のご請求 ☎ 0120-175-417(自動音声応答)

その他のご照会 ☎ 0120-176-417(9:00～17:00、土・日・祝日休み)

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

住友信託銀行株式会社本店及び全国各支店

東京都において発行する日本経済新聞

持 株 数	進呈ポイント数
100株～500株未満	500ポイント
500株～1,000株未満	1,000ポイント
1,000株以上	1,500ポイント

貯めつづけて新しい実りに出会うあなただけの感動を。

ポイント無期限、豪華アイテムと交換 **永久不滅ポイント**

最大の特長はポイントに有効期限がないこと。毎日のお買物をはじめ、月々のお支払いから海外旅行でのショッピングまで、さまざまなお支払いでお貯まります。貯まったポイントは400以上の豪華アイテムと交換。プライベートジェットで行くハワイなど夢の企画から洗練された小物まで、世界中から多彩にラインナップしたアイテムの中からほんの一例をご紹介します。

※写真は「永久不滅ポイント アイテムカタログ」のアイテムの一例です。



**永久不滅ポイント
いつでも2~19倍!**

オンラインショッピングモール「永久不滅.com(ドットコム)」

詳しくは [永久不滅ドットコム](http://www.a-q-f.com) 検索 www.a-q-f.com 携帯電話 [出店数は30店舗以上](http://aqfmb.com) <http://aqfmb.com>

* Amazon, Amazon.co.jp および Amazon.co.jp のロゴは Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。* 永久不滅ポイント対象外カードおよび SAISON MILE CLUB(ショッピングマイルプラン)にご加入の場合は、本サービス対象外となります。* UCカードポートカードおよび UC インターネットサービス「アットユーネット」対象外カード(UC 法人カード、UC 家族カード)は本サービス対象外となります。* 加算されたポイントは、《セゾン》インターネットサービス「Net アンサー」または UC インターネットサービス「アットユーネット」により確認いただけます。* ポイントが加算される時期は原則カードご利用後3ヶ月以内となります。* 上記は出店ショップの一例です。加算されるポイントは2倍以上となり、ショップにより異なります。詳しくは上記URLにてご確認ください。* 「永久不滅.com携帯電話版」は、「セゾン」カードのみご利用いただけます。

200以上の多彩なジャンルのショップが出店する、「Net アンサー」「アットユーネット」会員限定のオンラインショッピングモール「永久不滅.com(ドットコム)」。モールでのショッピングご利用で永久不滅ポイントがいつでも2~19倍貯まります。

出店ショップの一例 ※パソコン版



×2倍



×5倍



×3倍



×3倍

